

茨木火起こしプロジェクト

ー茨木北部地域の活性化ー



茨 木
ほくちの会





又地藏の杉



天正二年銘磨崖仏



銭原の石槽(絶海国師隠棲地)



忍頂寺



銭原願証寺跡の五輪塔

市役所による
いばきた観光マップより



JR茨木駅

山手台七丁
バス停

受け入れ先: 茨木ほくちの会
(茨木市北部地域協議会)

茨木市北部の16集落の活性化
を目指す住民による組織

茨木市 28万人
北部: 2800人
小中学校の閉校・統合
高齢化が進む



茨木ほくちの会の活動



芋掘りワークショップ



里山散策ワークショップ

チャンバラ合戦-戦 IKUSA-



村の暮らしを
伝える冊子作り

地域活性化を目指して会議を重ねる



ほくちの会ワークショップ



ビジョンプロジェクト中間発表



プロジェクトマネージャー 中井優紀さん



隠れキリシタンの村に嫁いだら

三島独活（みしまうど）×茨木市北部地域×田舎暮らし



プロジェクト名:

茨木火起こしプロジェクトー茨木北部地域の活性化ー

受入団体名: 茨木ほくちの会(茨木市北部地域協議会)

募集人数

10名

<受入団体からのメッセージ>

茨木北部地域は高齢化や休耕地、里山の荒廃等、様々な課題を抱えています。その課題を少しでも解決していこうと、今、地域では未来に向けた活性化の火種がたくさん起こっています。私たちは、その火種を集め、火を大きくする火口(ほくち)になりたいと活動してきました。火を起こすには、火種をつくり、火種を集めたほくちに、風を送り込むことが重要です。私たちは地域の外の視点で、新しい風を吹き込んでくれる仲間を探しています。茨木の農村地域が抱える様々な課題を「遊び」と「ビジネス」で解決していきたいと考えています。与えられる遊びや仕事ではなく、自分たちで考え、創り上げていく面白さを学生の皆さんやまちの人たちと共有していきたいのです。決して簡単に解決できるものではありませんが、多様な価値観や背景の人たちが集まり、知恵を出し合えば、何だってできるんじゃないかと思っています。

<主な活動場所>

茨木市北部 千提寺(最寄バス停など:阪急バス「千提寺口」)

<日常的なコミュニケーションの手段>

(○)電子メール (○)Facebook ()LINE ()電話

<活動する現場で学生が求められる理由>

若い柔軟な発想と、行動力に期待しています。
ダッシュ村のように休耕地と荒れた里山も蘇らせていきます
ので、体力も重要です!

<活動パターン>

()毎週1日程度・定例
(○)月1~2回・不定期
()主に夏期休暇・集中
()その他
→具体的には…

<活動のテーマと主な内容>

子どもたちと茨木ほくちの魅力を発見する

茨木市北部(ほくち)には、16の集落の人々によって守られきた豊かな里山と、棚田、地域の特産野菜があり、新規就農者や、市内外から森の手入れに通う方々の集う場所です。ほくちの会では、このほくちの豊かさを守っていくために、子どもたちに農と里山の面白さを伝えるプログラムを実施しています。

このプロジェクトでは、耕作放棄地や里山の有効活用や、子ども農業ビジネススクールを、地域の大人や子どもと一緒に作ってきます。大学生のみなさんには、子どもたちに寄り添い、彼らが茨木ほくちの魅力を発見するお手伝いをしていただきたいと考えています。具体的には、子どもたちがほくちの自然や文化と出会う場や、ほくちの農や里山を南部住民に伝える企画を、ともに作ってください。茨木市の未来を担う子どもたちを、ほくちの会と一緒に育てていきましょう！それが、未来のほくちを開拓することにつながります。

<期待できる学び>

茨木市北部の状況を理解できるようになる。

日本における中山間地の農業、農村が抱える課題を理解できるようになる。

中山間地と市街地が近距離に位置する茨木市の特徴を実感できるようになる。

ほくち住民(農業者)と茨木市南部住民(市街地住民)双方の背景を理解できるようになる。

社会問題の解決に向けて、試行錯誤を繰り返しながら考え続ける体力を身につけることができる。

＜活動の流れ＞

5月 タケノコ狩り:千提寺集落
合宿(NPOや他大生との協働でやりたいこと探し):青少年野外活動センター

6月-7月 人を知る(茨木ほくちずプロジェクト)
土地を知る(星を観る、野生動物と出会う、焚き火をする、水源を知るetc)
生活を知る(農作業のお手伝い、農業・里山ビジネス作戦会議)

8月-9月 耕作放棄地 開拓キャンプ:千提寺集落

10月 稲刈りなど農作業のお手伝い

10月下旬～11月 農業・里山ビジネス実践:立命館大学Asia Week
or バルフェスタいばらき

12月上旬 報告会

希望者は、

12月 独活小屋づくり

3月 独活收穫見学

* 農業・里山ビジネスとは：子どもが里山や休耕地の資源を使って、0から1を生み出し、イベントなどで販売することで、農業・里山ビジネスの一端を学び、その魅力を知ることとする取り組み。